

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年7月30日 (2015.7.30)

【公表番号】特表2013-544378(P2013-544378A)

【公表日】平成25年12月12日 (2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2013-539961(P2013-539961)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/32 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/039 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/32

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/039

G 0 3 F 7/004 5 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年6月8日 (2015.6.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 5 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 5 7 】

(実施例 5 ～ 8)

上記 3 % KOH 溶液にカルシウムイオンを加えず、上記キレート剤 Bayhibit^R AM 配合量を変化させたことを除いて、実施例 3 および 4 を繰り返した。錯体生成定数を、Trend in Analytical Chemistry, Vol. 22 (10), 2003 から得た。その結果を、以下にまとめた。

【表 5】

実施例	キレート剤 (配合量、重量)	標準化 重量損失	錯体生成定数 (log K)	
			Ca ²⁺	Al ³⁺
5	Bayhibit ^R AM, 0.002%	1.0	4.4	6.7
6	Bayhibit ^R AM, 0.020%	1.0	4.4	6.7
7	Bayhibit ^R AM, 0.200%	1.0	4.4	6.7
8	Bayhibit ^R AM, 0.500%	1.1	4.4	6.7

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 6 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 6 0 】

(比較例 5 ～ 16)

現像剤における Bayhibit[®] AM を本発明の範囲外の種々のキレート剤に変えたことを除いて、実施例 5～8 を繰り返した。上記カルシウムおよびアルミニウムに対する錯体生成定数を、Trend in Analytical Chemistry, Vol. 22 (10), 2003 から得た。その結果を、以下にまとめた。

【表 6】

比較例	キレート剤 (配合量、重量)	標準化 重量損失	錯体生成定数 (log K)	
			Ca ²⁺	Al ³⁺
5	EDDS, 0.002%	1.1	4.7	12.9
6	EDDS, 0.020%	1.3		
7	EDDS, 0.200%	1.7		
8	NTA, 0.002%	1.3	6.4	11.4
9	NTA, 0.020%	1.7		
10	NTA, 0.200%	2.7		
11	EDTA, 0.002%	2.7	10.6	16.5
12	EDTA, 0.020%	2.9		
13	EDTA, 0.200%	3.2		
14	DTPA, 0.002%	1.5	10.8	18.7
15	DTPA, 0.020%	2.7		
16	DTPA, 0.200%	3.1		

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 基材および画像形成可能な層を有し、赤外線吸収化合物を含有するポジ型平版印刷版前駆体を赤外線に画像的に露光して、該画像形成可能な層内に露光領域および非露光領域を提供する工程、および

(B) 該露光した平版印刷版前駆体を、現像剤組成物で現像して、該画像形成可能な層内の露光領域を除去する工程を含み、

現像剤組成物が、pH 少なくとも 12 を有し、かつ

バリウムカチオン、カルシウムカチオン、ストロンチウムカチオンおよび亜鉛カチオンから成る群から選択される金属カチオン M^{2+} 、および

カルシウムイオンに対する錯形成定数 (log K) 3.5～4.5 およびアルミニウムイオンに対する錯形成定数 (log K) 7 以下を有するキレート剤を含む、ケイ酸塩を含有しない水性アルカリ現像剤組成物であり、

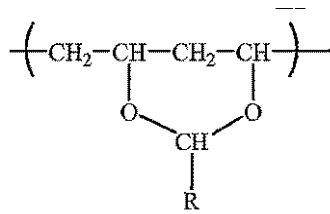
基材が、陽極酸化膜を含む硫酸またはリン酸を用いて陽極酸化したアルミニウム含有支持体である、

平版印刷版を提供する方法。

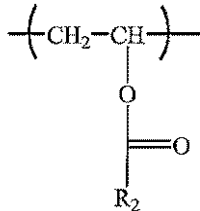
【請求項 2】

前記画像形成可能な層が、以下の構造 (Ia) および (Ib) :

【化 1】



(Ia)



(Ib)

(式中、

構造 (I a) および (I b) の繰り返し単位の両方が存在する場合、ポリマーバインダ中の合計繰り返し単位をベースとして、構造 (I a) の繰り返し単位が 10 ~ 35 モル%、構造 (I b) の繰り返し単位が 25 ~ 60 モル% 存在し、

R は、置換または非置換ヒドロキシアリール基であり、

R₂ は、ヒドロキシル基がエステル結合に対してオルト位である置換または非置換ヒドロキシアリール基である。)

のいずれかまたは両方によって表される繰り返し単位をランダムに含有するポリマーバインダを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記ポジ型平版印刷版前駆体が、ヒドロキシマンデル酸；アリール基に直接結合する少なくとも 1 つのアミノ基および少なくとも 1 つのカルボン酸基を有する有機化合物；またはヒドロキシマンデル酸および該有機化合物の少なくとも 1 つの両方；を含有する画像形成可能な層を有する請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記アルミニウム含有支持体が、NaH₂PO₄ およびフッ化ナトリウムの溶液で処理された、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記現像剤組成物中の金属カチオン M²⁺ がカルシウム、ストロンチウムまたは亜鉛カチオンである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

前記現像剤組成物が、さらにクエン酸塩、酢酸塩、酒石酸塩、硝酸塩、およびシュウ酸塩の内の少なくとも一つであるアルカリ金属塩を更に含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の方法。